

5/30 未審



会見する住江会長（右端）ら＝29日、東京都渋谷区

他人の医療情報 37件 窓口で10割負担 206人

マイナ保険証トラブル

全国保険医団体連合会（保団連）は29日、マイナンバーカード保険証（マイナ保険証）による医療現場のトラブル調査から、「他人の医療情報がひもづけられていた」ケースが少なくとも37件あると公表しました。20保険医協会・保険医会の会員医療機関から回答を得ました。保団連は重大な医療事故につながらないとして「

保団連調査

会（保団連）は29日、マイナンバーカード保険証（マイナ保険証）による医療現場のトラブル調査から、「他人

の医療情報がひもづけられていた」ケースが少なくとも37件あると公表しました。20保険

医協会・保険医会の会員医療機関から回答を得ました。保団連は重

大な医療事故につながらないとして「

件たりとあってはならない」と批判。マイナ保険証システムの運用を「中止すべきだ」と訴えました。

この日、保団連は都内を会見し、同日時点

でオンライン資格確認を導入した19都府県1432医療機関のうちの約6部（893医療機関）で、トラブルがあつたと明らかにしました。

月末までは10割負担

で、約1万2千円、10

月以降は約6万4千円

かかるといいます。

保団連の住江憲男会長は、マイナ保険証の誤情報問題について、「誤情報の可能性を心配する医療現場に余計なストレスがかかる」と批判。問題の全く反映されない（約67%）でした。

オンライン資格確認ができる、「無保険」バー制度連法系の廢案を訴えました。